

## 10 生涯学習について

### (1) 最近1年間に行った生涯学習の種類

問33 あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習をしたことがありますか。

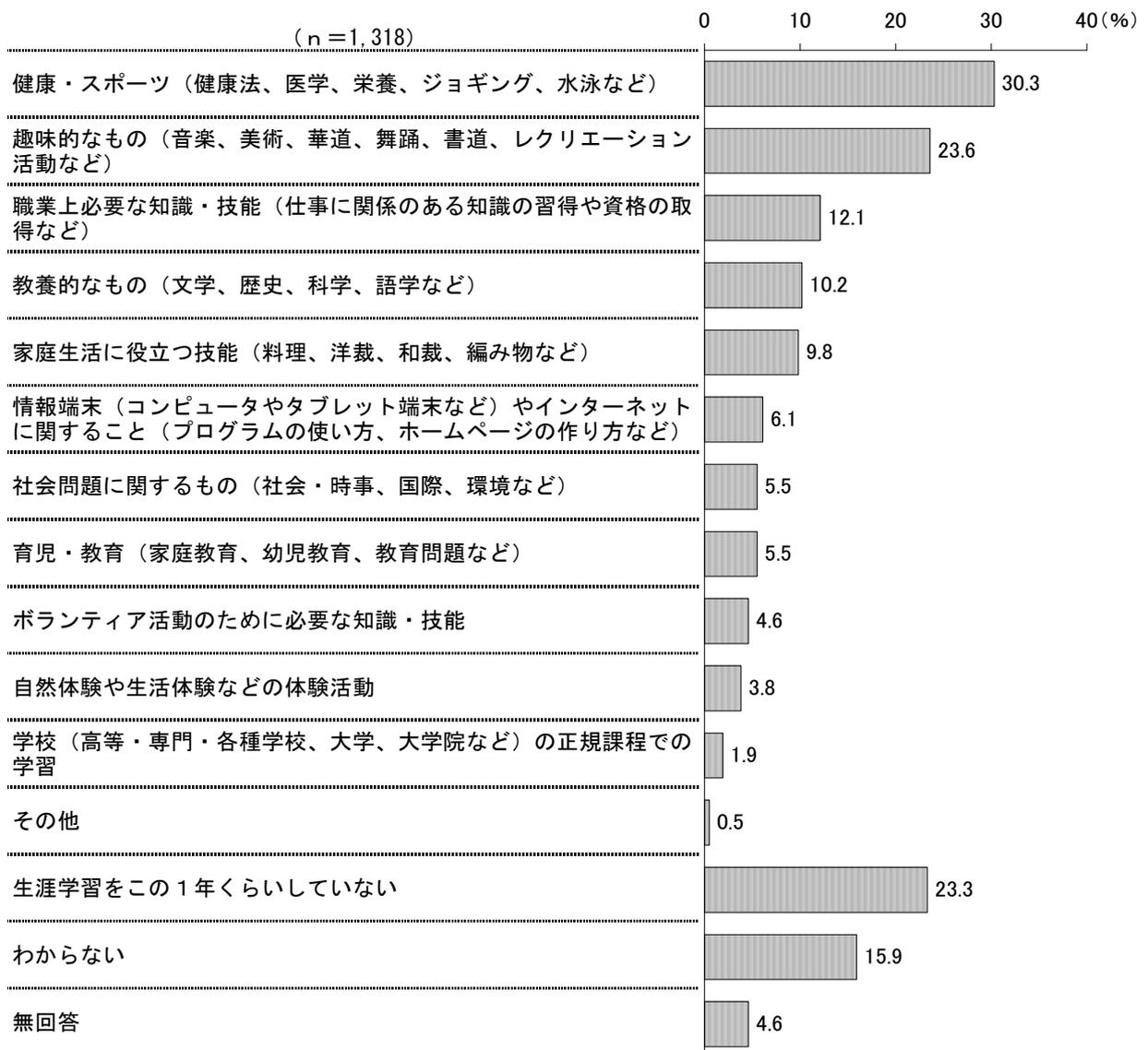
次の中からいくつでも選んでください。

※ 「生涯学習」とは、人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や、公民館における講座等の社会教育などの学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などにおけるさまざまな学習活動のことをいいます。

[n=1,318]

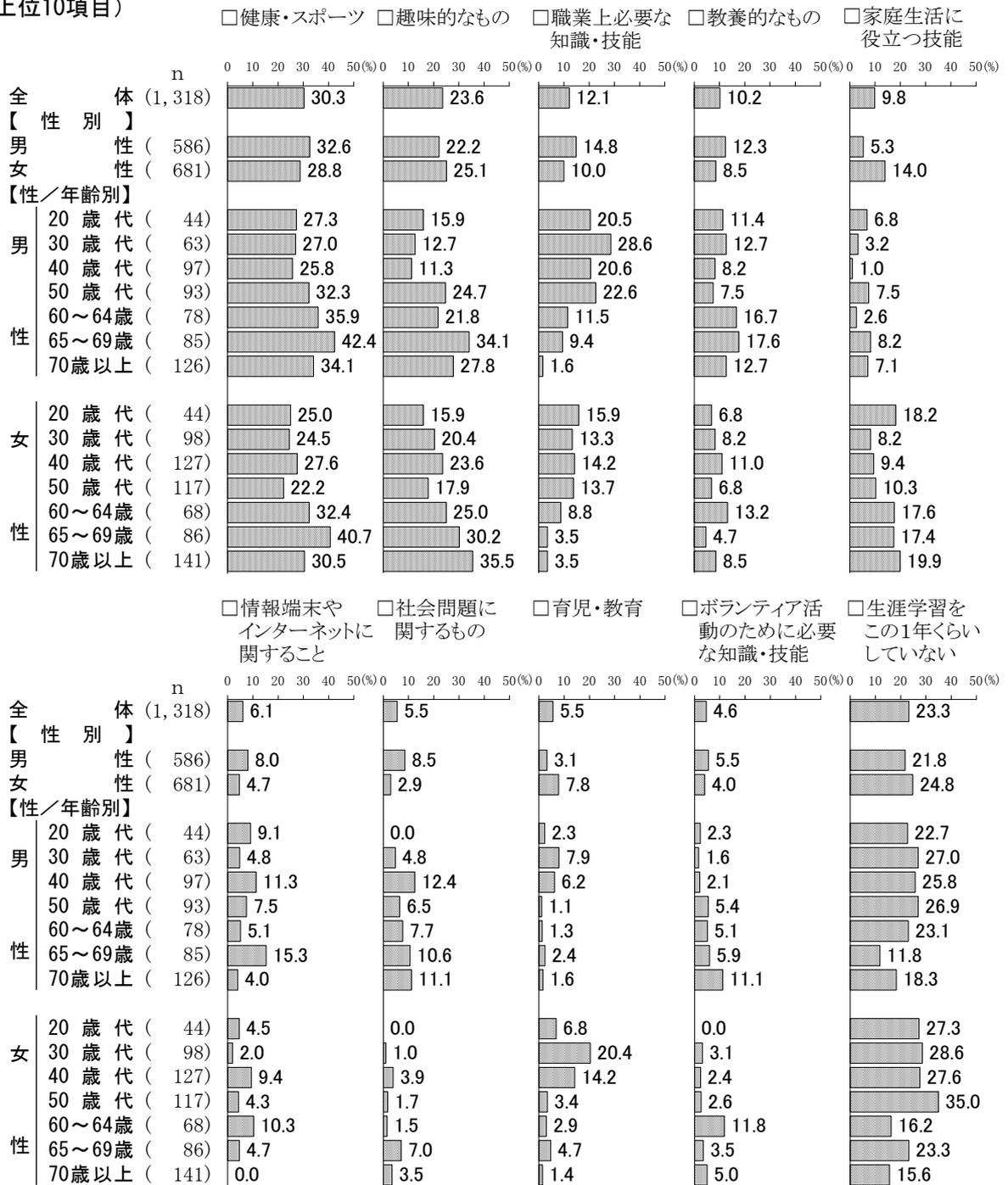
1	趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）	23.6%
2	教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）	10.2
3	社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）	5.5
4	健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）	30.3
5	家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）	9.8
6	育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など）	5.5
7	職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）	12.1
8	情報端末（コンピュータやタブレット端末など）やインターネットに関すること （プログラムの使い方、ホームページの作り方など）	6.1
9	ボランティア活動のために必要な知識・技能	4.6
10	自然体験や生活体験などの体験活動	3.8
11	学校（高等・専門・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習	1.9
12	その他	0.5
13	生涯学習をこの1年くらいしていない	23.3
14	わからない (無回答)	15.9 4.6

全体で見ると、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」(30.3%)が3割で最も高く、次いで「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）」(23.6%)、「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」(12.1%)、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）」(10.2%)の順となっている。



[性別・性／年齢別]

(上位10項目)

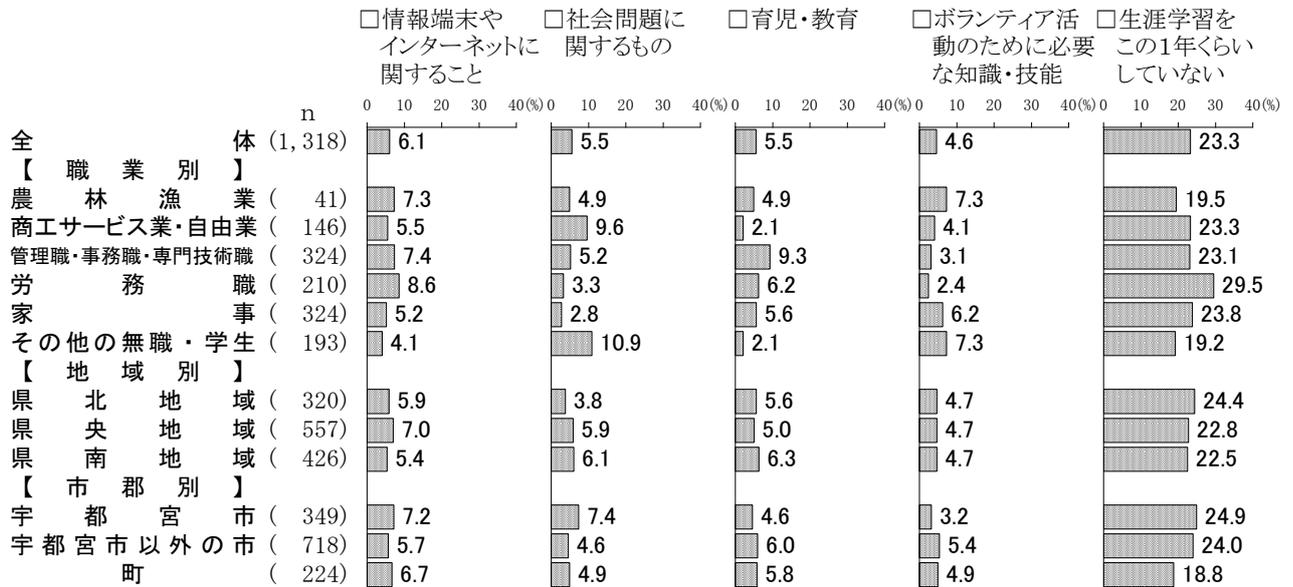
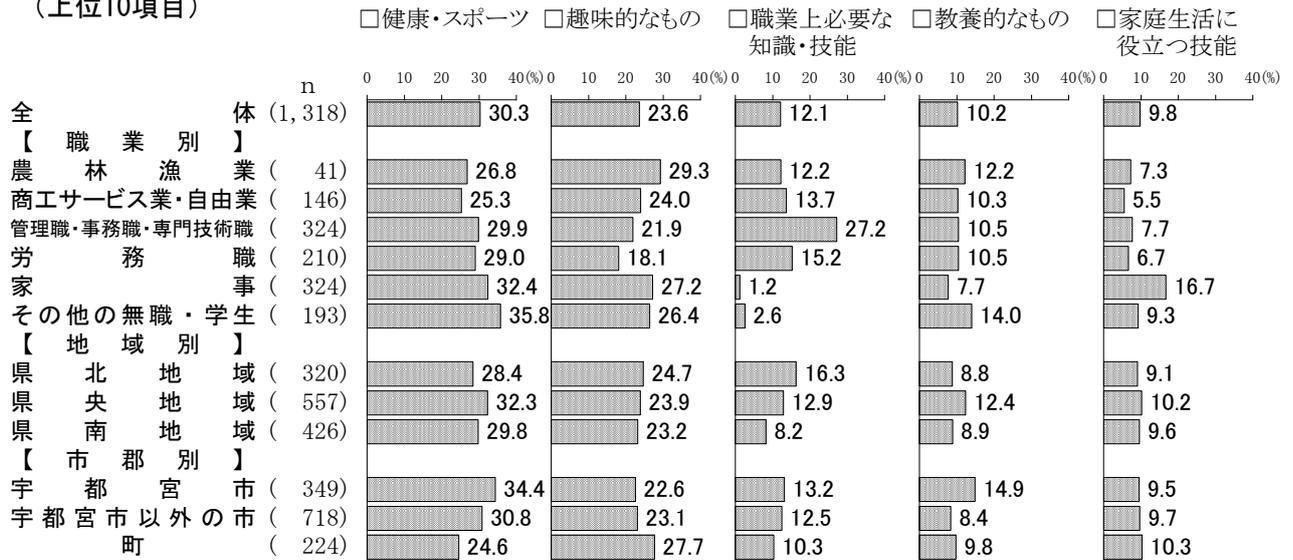


性別で見ると、「家庭生活に役立つ技能」では〈女性〉(14.0%)が〈男性〉(5.3%)より8.7ポイント高くなっている。「社会問題に関するもの」では〈男性〉(8.5%)が〈女性〉(2.9%)より5.6ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「健康・スポーツ」では〈男性65~69歳〉が42.4%、〈女性65~69歳〉が40.7%と高くなっている。「趣味的なもの」では〈女性70歳以上〉が35.5%、〈男性65~69歳〉が34.1%と高くなっている。「職業上必要な知識・技能」では〈男性30歳代〉が28.6%と高くなっている。「育児・教育」では〈女性30歳代〉が20.4%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]

(上位10項目)



職業別でみると、「健康・スポーツ」では〈その他の無職・学生〉が35.8%と高くなっている。「職業上必要な知識・技能」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が27.2%と高くなっている。「家庭生活に役立つ技能」では〈家事〉が16.7%と高くなっている。

地域別でみると、「職業上必要な知識・技能」では〈県北地域〉が16.3%と高くなっている。

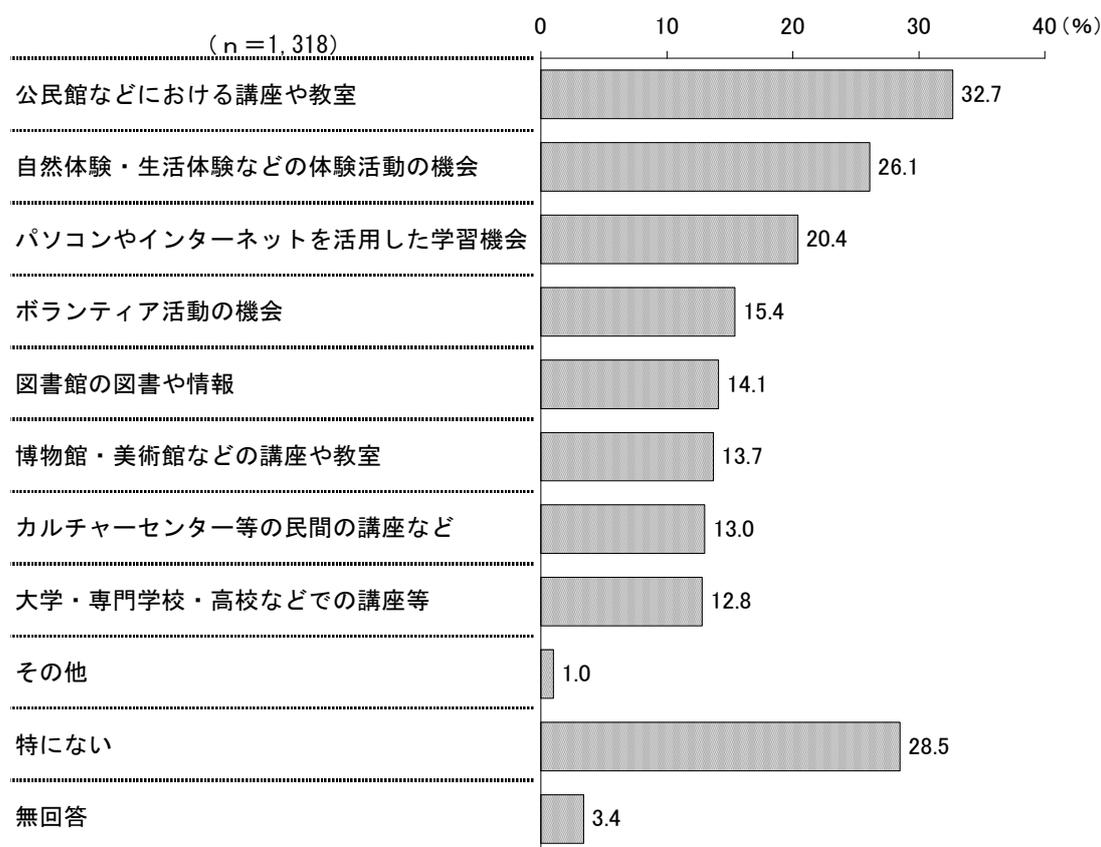
市郡別でみると、「健康・スポーツ」では〈宇都宮市〉が34.4%と高くなっている。「趣味的なもの」では〈町〉が27.7%と高くなっている。「教養的なもの」では〈宇都宮市〉が14.9%と高くなっている。

(2) 生涯学習を行う機会として増えたほうがよいと思うもの

問34 あなたは、どのような生涯学習の機会が増えればよいと思いますか。  
次の中からいくつでも選んでください。

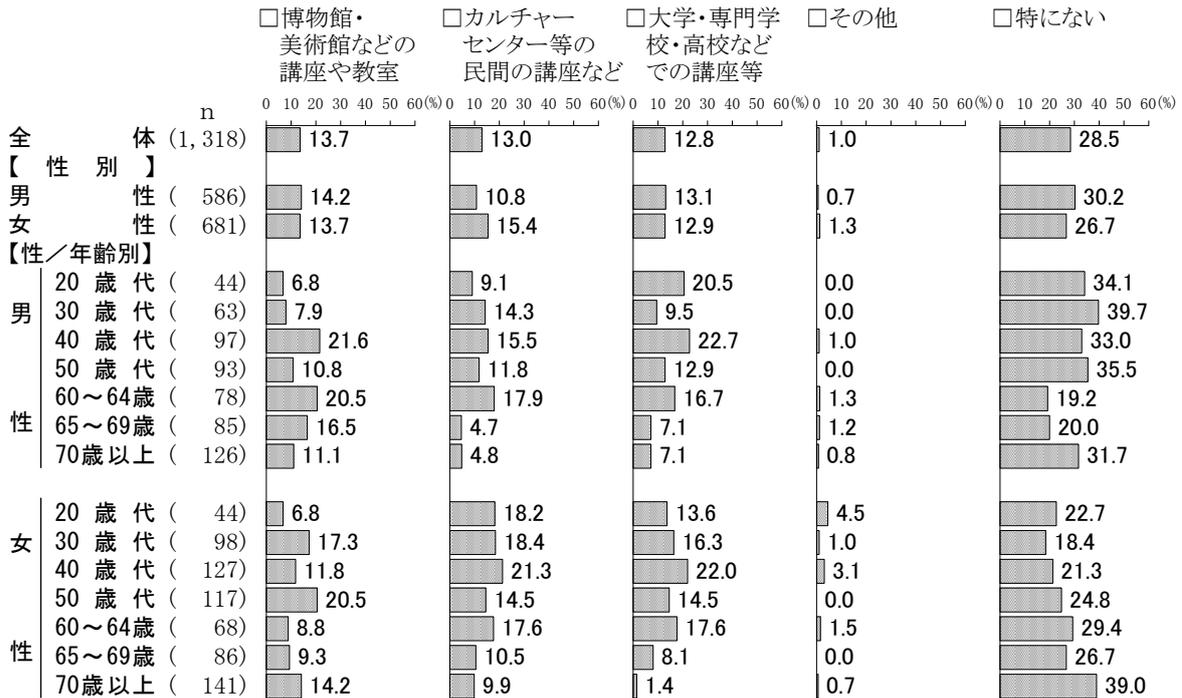
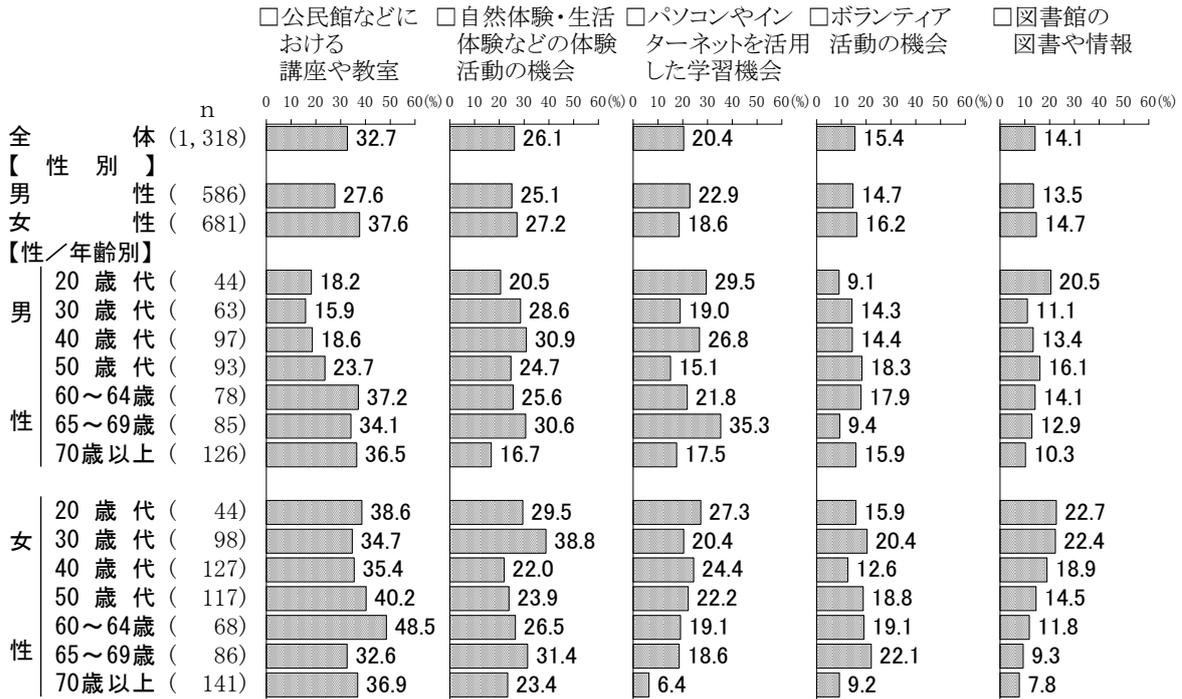
[n=1,318]

1	公民館などにおける講座や教室	32.7%
2	大学・専門学校・高校などでの講座等	12.8
3	博物館・美術館などの講座や教室	13.7
4	カルチャーセンター等の民間の講座など	13.0
5	図書館の図書や情報	14.1
6	パソコンやインターネットを活用した学習機会	20.4
7	ボランティア活動の機会	15.4
8	自然体験・生活体験などの体験活動の機会	26.1
9	その他	1.0
10	特にない	28.5
	(無回答)	3.4



全体で見ると、「公民館などにおける講座や教室」(32.7%)が3割を超えて最も高く、次いで「自然体験・生活体験などの体験活動の機会」(26.1%)、「パソコンやインターネットを活用した学習機会」(20.4%)、「ボランティア活動の機会」(15.4%)、「図書館の図書や情報」(14.1%)の順となっている。

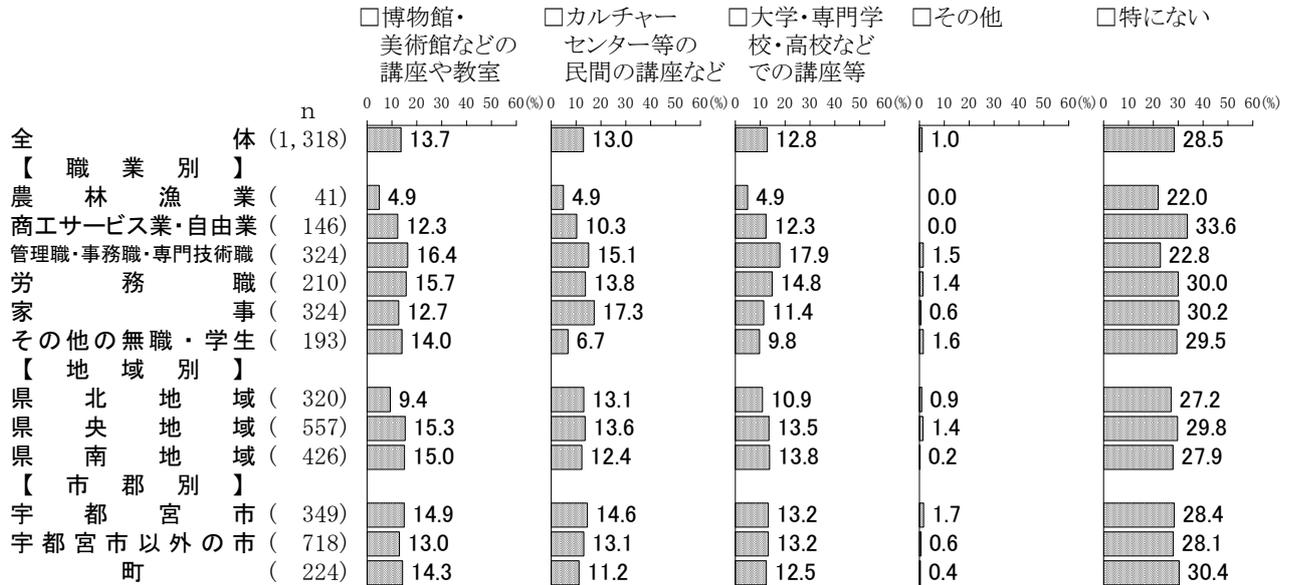
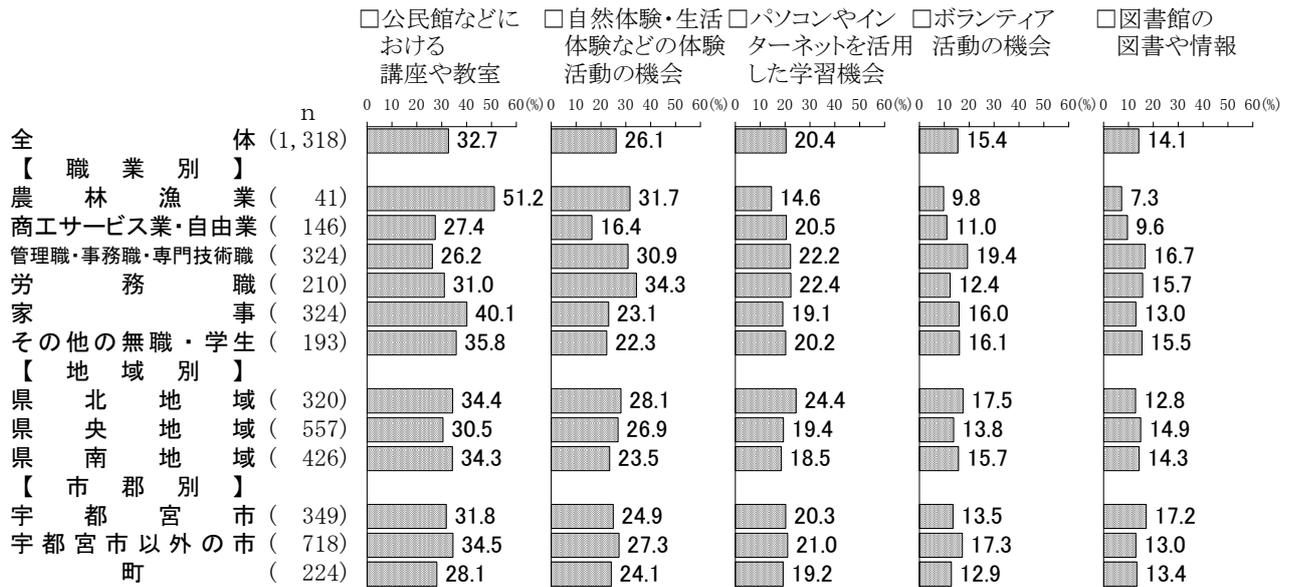
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「公民館などにおける講座や教室」では〈女性〉(37.6%)が〈男性〉(27.6%)より10.0ポイント高く、「カルチャーセンター等の民間の講座など」では〈女性〉(15.4%)が〈男性〉(10.8%)より4.6ポイント高くなっている。「パソコンやインターネットを活用した学習機会」では〈男性〉(22.9%)が〈女性〉(18.6%)より4.3ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「公民館などにおける講座や教室」では〈女性60~64歳〉が48.5%と高くなっている。「自然体験・生活体験などの体験活動の機会」では〈女性30歳代〉が38.8%と高く、「パソコンやインターネットを活用した学習機会」では〈男性65~69歳〉が35.3%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「公民館などにおける講座や教室」では〈農林漁業〉が51.2%と高くなっている。

「自然体験・生活体験などの体験活動の機会」では〈労務職〉が34.3%と高くなっている。

地域別でみると、「パソコンやインターネットを活用した学習機会」では〈県北地域〉が24.4%と高くなっている。

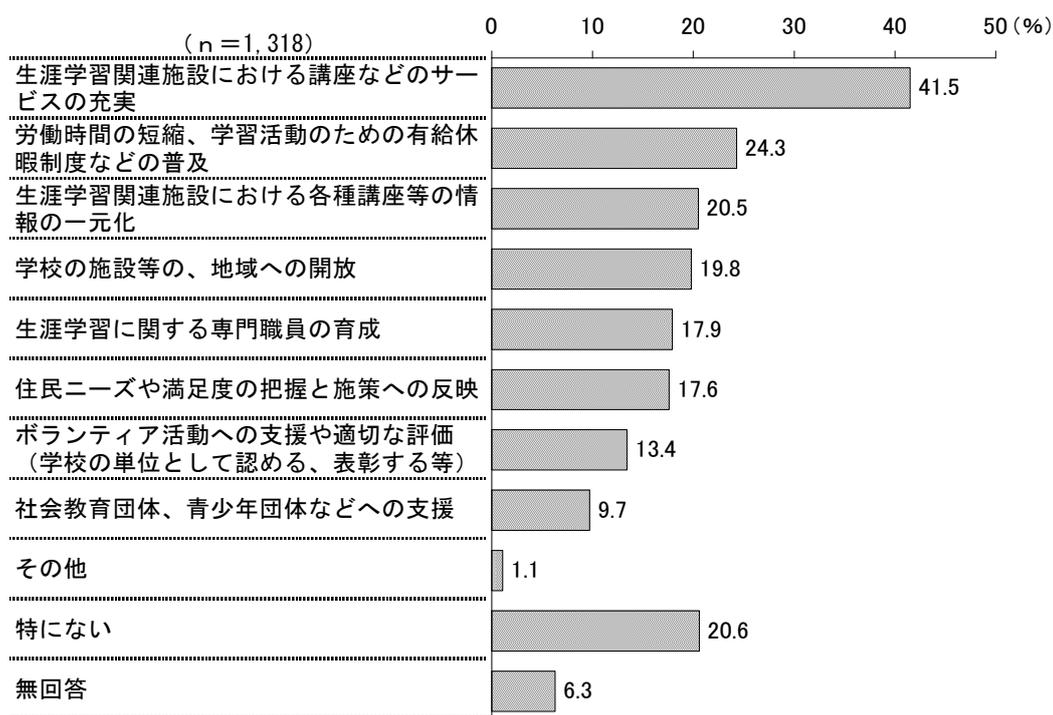
市郡別でみると、「公民館などにおける講座や教室」では〈宇都宮市以外の市〉が34.5%と高くなっている。

### (3) 生涯学習活動を盛んにしていくための行政の取組

問35 今後、人々の生涯学習活動をもっと盛んにしていくために、あなたは、行政がどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

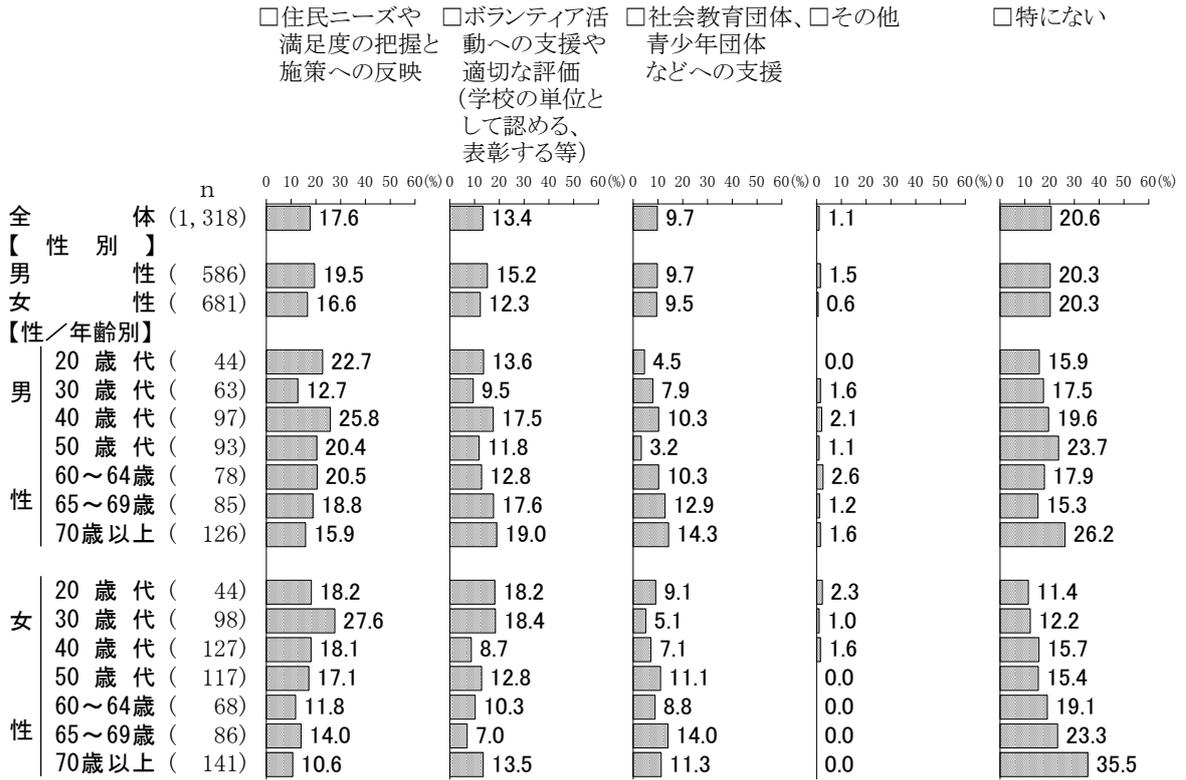
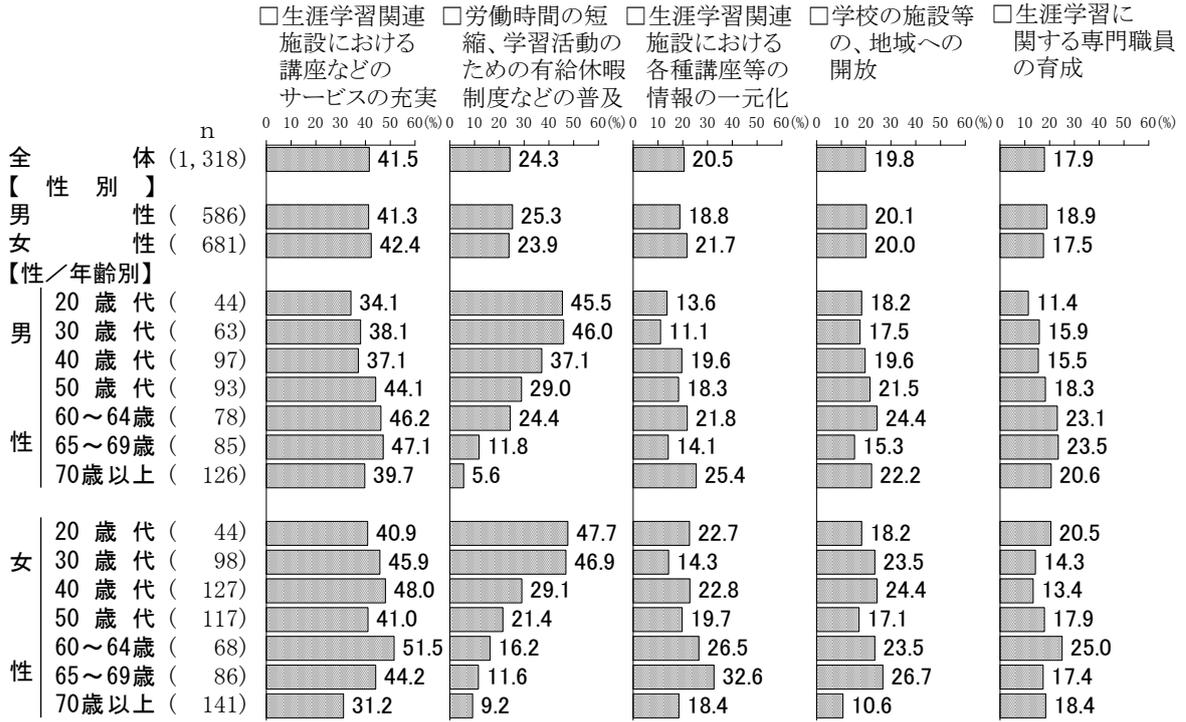
[n=1,318]

1	生涯学習関連施設における講座などのサービスの充実	41.5%
2	生涯学習関連施設における各種講座等の情報の一元化	20.5
3	生涯学習に関する専門職員の育成	17.9
4	学校の施設等の、地域への開放	19.8
5	住民ニーズや満足度の把握と施策への反映	17.6
6	社会教育団体、青少年団体などへの支援	9.7
7	ボランティア活動への支援や適切な評価(学校の単位として認める、表彰する等)	13.4
8	労働時間の短縮、学習活動のための有給休暇制度などの普及	24.3
9	その他	1.1
10	特にない	20.6
	(無回答)	6.3



全体で見ると、「生涯学習関連施設における講座などのサービスの充実」(41.5%)が4割を超えて最も高く、次いで「労働時間の短縮、学習活動のための有給休暇制度などの普及」(24.3%)、「生涯学習関連施設における各種講座等の情報の一元化」(20.5%)、「学校の施設等の、地域への開放」(19.8%)、「生涯学習に関する専門職員の育成」(17.9%)の順となっている。

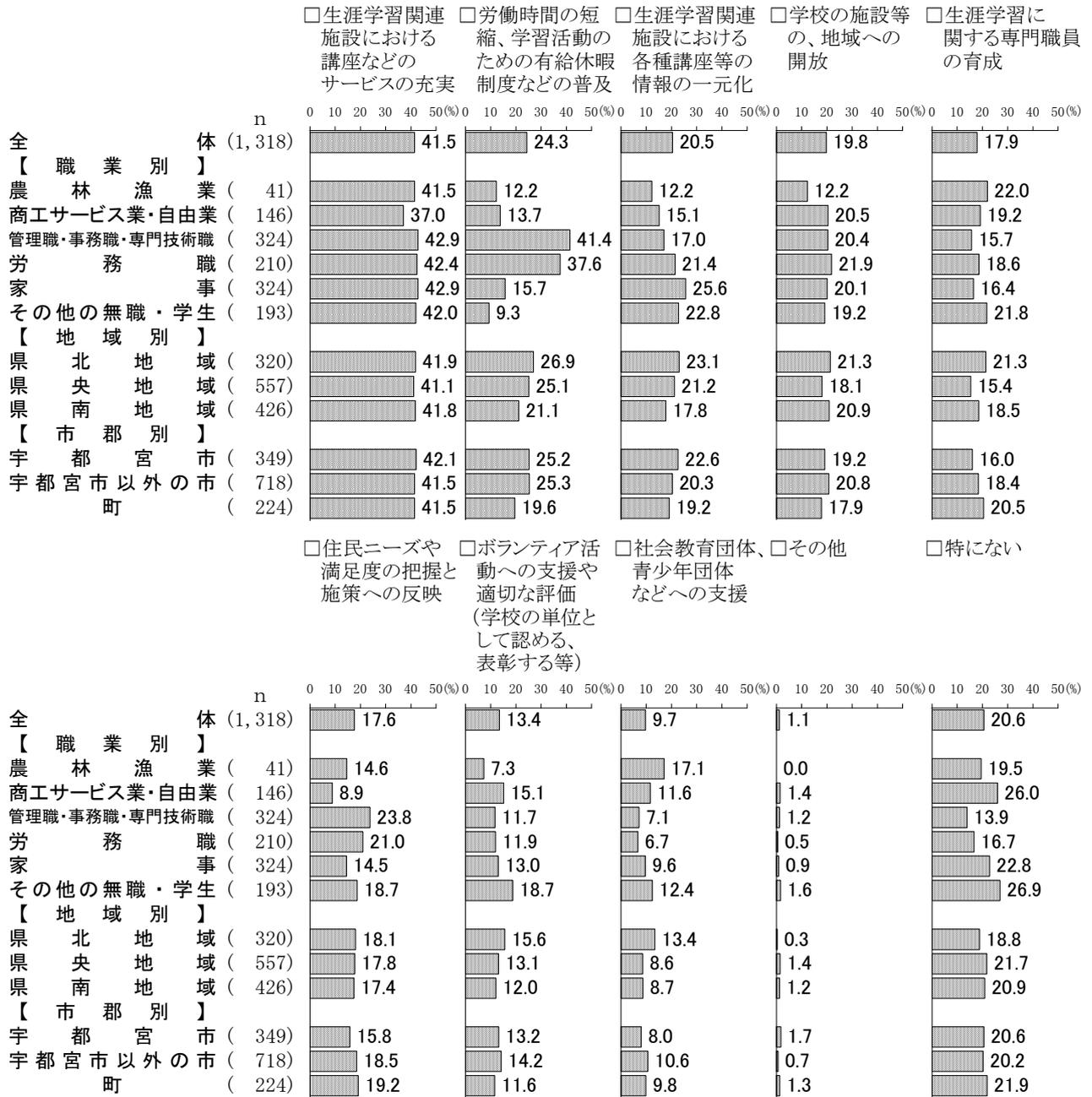
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、性別による大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別で見ると、「生涯学習関連施設における講座などのサービスの充実」では〈女性60～64歳〉が51.5%と高くなっている。「労働時間の短縮、学習活動のための有給休暇制度などの普及」では男女ともおおむね低い年代ほど割合が高くなっている。「生涯学習関連施設における各種講座等の情報の一元化」では〈女性65～69歳〉が32.6%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「労働時間の短縮、学習活動のための有給休暇制度などの普及」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が41.4%、〈労務職〉が37.6%と高くなっている。

地域別でみると、「労働時間の短縮、学習活動のための有給休暇制度などの普及」では〈県北地域〉が26.9%と高く、「生涯学習に関する専門職員の育成」でも〈県北地域〉が21.3%と高くなっている。

市郡別でみると、「労働時間の短縮、学習活動のための有給休暇制度などの普及」では〈宇都宮市以外の市〉が25.3%、〈宇都宮市〉が25.2%となっており、〈町〉(19.6%)に比べて高くなっている。